

病害虫防除技術情報第7号

平成25年6月17日
三重県病害虫防除所

イチゴ親株床でのハダニ類の発生が多くなっています

- 1 対象作物：イチゴ
- 2 病害虫名：ハダニ類
- 3 発生状況：やや多い
 - 1) イチゴ親株床における6月上旬の巡回調査結果（12圃場）では、寄生株率21.3%（9年平均7.0%）、発生程度8.5（8年平均2.8）と平年より多い状況です（表）。
 - 2) 一般圃場では、6月中旬の発生量は平年に比べてやや多い状況です。
 - 3) 1か月予報（6月14日・名古屋地方気象台発表）によると、期間のはじめはまとまった雨が降らない見込みであり、しばらくは発生に好適な条件が続くと考えられます。

表. 6月上旬の巡回調査圃場におけるハダニ類の発生状況（親株床、12圃場調査）

調査年	寄生株率	発生程度
本年	21.3%	8.5
平年	7.0%	2.8
平年比	多	多

- ・寄生株率については、各圃場50株を調査。
- ・発生程度については、各圃場50株（1株3葉調査）の1葉当たり平均密度を基準に算出。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 発生が多くなると防除が難しくなります。圃場全体をよく観察し、発生程度の低いうちに徹底して薬剤散布を行ってください。
 - 2) 葉液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるように丁寧に散布してください。
 - 3) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
 - 4) 薬剤の散布にあたっては、天敵に対する影響を十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。